

『中学道德 あすを生きる』 活用しよう! 「道德ノート」



1

「道德ノート」の役割 ～「考え、議論する」ためのノートです。

■学習指導要領、学習指導要領解説での位置づけ

学習指導要領では、「自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実すること」が求められています。また、学習指導要領解説では、書く活動の工夫として「一冊にとじられたノートなどを活用することによって、生徒の学習を継続的に深めていくことができ、生徒の成長の記録として活用したり、評価に生かしたりすることもできる」と例示しています。

道德科の授業においては、友達の多様な考えに触れながら自分の考えを深めていくことが大切です。書く活動は、道德的価値やそれに基づいたよりよい生き方などについて、考えをさらに深めたり、まとめたりするための活動であると言えます。これらを具現化するために、「道德ノート」は大きな役割を果たします。

→学習指導要領 第3章の第3の2の(4)

→学習指導要領解説 道德編 p.84

本資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則り、
配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

平成31年(2019年)度版
中学校道德科内容解説資料として
扱われます。

㊦ 未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

①使いやすい1教材1ページ

「道徳ノート」は、ワークシートとノートそれぞれのよい面を取り入れて構成しています。また、教科書本冊と同じ学習順なので、迷わずページを開くことができます。

ただし、すべての授業で使わなければならないというものではありません。すべての記入欄を埋める必要もないので、学級の実態や授業の展開に合わせて計画段階で柔軟に工夫してください。全体の流れを考慮してどの部分を書かせるかを決め、書かせる時間やタイミングを確保しましょう。

②書かせる意図を明確に

書く活動の充実が大切ですが、書く活動が目的とならないように注意が必要です。自分の考えをもつために書かせるのか、自分自身を見つめ直すために書かせるのか、話し合いのメモとして書かせるのかなど、教師が意図をもち活用することでその幅は広がります。

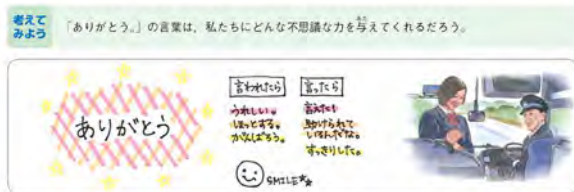
また、話し合いの際、小グループ内で「道徳ノート」に書いたことを見せ合いながら交流することもできます。あらかじめ、文字は大きめに書くように指示しておく、交流が活発になりやすいです。

■自由に書ける

「道徳ノート」は罫線やマス目がないので、矢印を使って思考の過程や変化を表現するなど、自由に書き込むことができます。

書く活動というと、文字を書くことを中心に考えますが、絵を描く、色を塗って表現するといったこともあってよいでしょう。生徒の思いは多様ですので、それを自由に表現させる活動についても多様にイメージしてよいのではないのでしょうか。

たとえば、主人公「私」の気持ちを、赤や青などの色で表したり、吹き出しで表現したり、授業で学んだよりよい生き方を図や絵で表したりするなど、生徒によっては、文章と併用させるのもよいかもしれません。

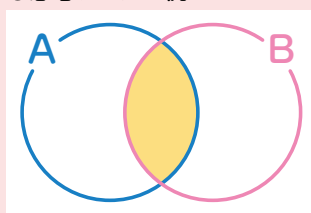


■多面的・多角的に考えられる

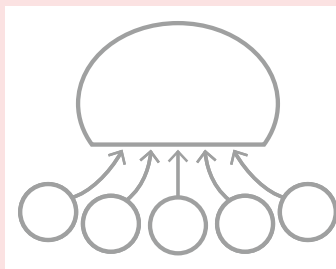
「友達の意見や話し合いをメモしよう」の欄を活用することで、自分の考えをさらに広げ深めることができます。たとえば、友達の意見で気づいたこと、共感したこと、考えが変化したことなどは「青色ペンで記入する」と決めておくと、あとで振り返ったときに青色ペンがたくさんあれば、話し合いでたくさん学んだことがわかります。友達の意見や話し合いから新たな学びがあったかという自己評価（自分への振り返り）にもつながります。教師にとっても、生徒の考えの深まりや友達の意見を取り込むことによって内面が変わってきていることを見取るという評価の材料になります。

さらに、思考ツールを使うと、友達の意見や考えが可視化でき、学習意欲の喚起だけではなく、話し合いが深まり、より意見交流が活発になります。

●思考ツールの例



ベン図



クラゲチャート

1	困難を乗り越える力 サッカーの漫画を
「努力」と いえば？	がんばること 勉強
考えて みよう	漫画を描くうえでさまざまな困難にも負
マンガを描くのが好きだから、 自分の夢をかなえたい。	
友達の意見や話し合いをメモしよう。	
・目標があった ・読んでくれる人のため ・まわりの人の応援	
自分に +1 プラスワン	努力は簡単にできることだろうか。努力を
自分が好きなことでも、努力を続け 上田さんの言っていた「自分に負けない うまくなるように、自分に負けないで、	
自分への振り返り ○印をつけよう。	
今日の授業の内容は	印象に残った
友達の意見や話し合いから、 新しい発見や気づきが	あった
自分の考えを深めることが	できた
これから大切にしたいことが	わかった

③学びを積み重ね、振り返る

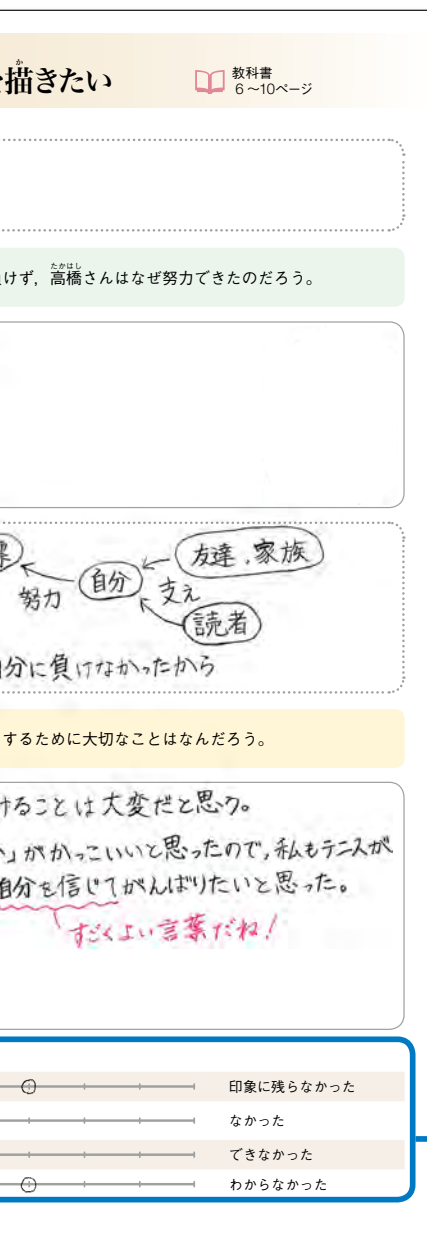
「自分に+1」には、学んだことを自分の言葉で記述し、前向きに自分に生かすことができます。生徒はそうした記録を振り返ることで、自分の思考過程を見つめながら考えの深まりや判断力の成長を実感し、それが今後の課題や目標を考える機会にもなります。この繰り返しこそが、道徳性の育成につながるのです。

さらに、内容項目の4つの視点を色分けしているので、1年間の授業で同じ内容項目を複数回扱っている場合、異なる時期の自分の考えを比較したり、成長の過程を振り返ることができます。

④家庭との連携

巻末には「保護者記入欄」があるので、必要に応じて利用すると、道徳科の授業の様子や道徳的価値について家庭で話題にする一助になります。

さらに、教師用指導書朱書編に記されている「あらすじ」を「道徳ノート」にも活用すれば、保護者が「道徳ノート」を見たとき、教科書がなくても生徒の学びがわかりやすくなります。生徒自身の学びの振り返りだけでなく、家庭と学校との連携にも生かすことができるのです。

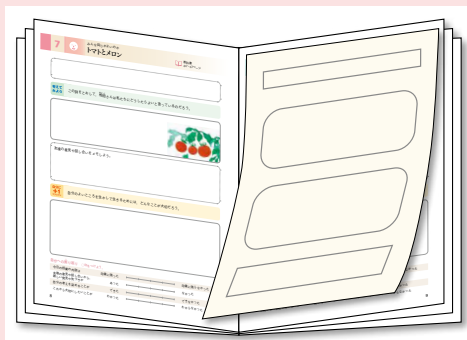


■ワークシートを貼りつける

発達の段階や授業内容によっては、自作ワークシートを使うこともあるでしょう。その場合は、教師用指導書付属の「デジタルデータ集」に収録されているワークシートのデータを活用しましょう。印刷して配付し、生徒たちが記入したあとは、そのまま「道徳ノート」に貼ることができます。

そうすることで、「道徳ノート」は生徒一人ひとりの「学びのポートフォリオ」となり、いつでも自分の学びを振り返ることができるものになります。

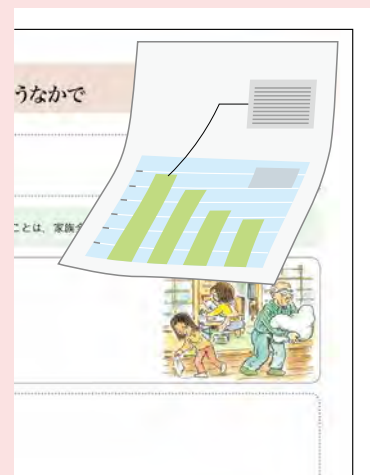
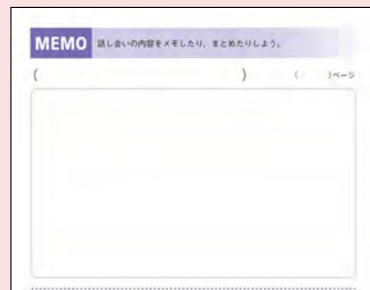
教科書以外の教材（郷土資料など）で授業をする場合もワークシートのデータを利用したり、「道徳ノート」巻末にある「MEMO」ページを利用することができます。



■補助資料を貼りつける

導入で使用するものとして、他教科等に関わる内容や事前アンケート結果などのコピーを貼ることもできます。他教科等との関連を図った学習をすることは非常に重要なので、たとえば、高齢者が登場する教材において、社会科（地理）の「日本の人口の変化と特色」の内容を導入で使うことによって、生徒自身が社会科で感じたり考えたりしたことを「道徳ノート」に蓄積していくことができます。

また、授業終了後に板書を撮影し、それを印刷して貼りつけると学習の記録になります。



★この欄（自分への振り返り）の活用法は次ページで

①「自分への振り返り」欄の活用

各ページの最下段にある「自分への振り返り」欄（前ページの★）は、教師による数値や段階別、項目別などの評価を求めるものではありません。自己評価として、学んだことを振り返るために設定したものです。書くことが苦手な生徒の場合、まずこの欄に記入して考えを整理したうえで「自分に＋１」を記入すると、思考を広げやすくなります。

この欄は生徒によって記入の基準が異なるため、ほかの生徒と比較しても意味はありませんが、生徒の成長の転機を見取ることができます。たとえば、それまでの授業ではこの欄の右側に○印が集まっていたのが、ある授業で左側に○印が集まった場合、その授業は生徒にとって何か特別の意味があった可能性があります。このような授業を通知表で取り上げると、生徒の自己評価と教師の評価が一致し、より納得感のある評価に近づきます。「自分への振り返り」の積み重ねが、生徒なりに道徳性を深めるきっかけになります。

道徳の学習で学んだことを書いてみよう

印象に残った学習と、なぜ印象に残ったのかを学期末などに書きましょう。

7月3日

私は「挫折から希望へ」が印象に残っています。私もピアノの練習がうまくいなくて嫌になることがあるからです。でも、弱い心には負けないで、少しずつでもいいのでうまくいくようにコツコツがんばっていきたいと思いました。
道徳の時間は、友達の意見が聞けるので面白いです。

◆保護者記入欄

いろいろな考えをもちあわせる時間も大切なのは、良いことだと思います。子どもが自ら考えをまとめることができる人になってほしいです。

■巻末の振り返り欄はこう使う

巻末には、学期末や年度末に活用できる振り返り欄があります。それまでの学習を振り返ることで、生徒は学びを心に留めることができます。教師にとっては、この欄の記述をもとに、生徒の印象に残った学習のページを確認することで、指導要録や通知表での評価に生かすことができます。

②生徒の記入内容を大切に

心通うコメントを教師が記入すると、生徒とのコミュニケーションに役立ち、生徒の心を書き留めた、その生徒だけの「宝物」となります。コメントは、場合によっては短くてもよいのです。「すごくよい言葉だね!」「この気持ちは大切!」などと書いたり、花丸をつけたりしてもよいでしょう。

また、生徒が書いた「自分に＋１」をコピーして「道徳通信」に利用することで、振り返りをさらに深めることもできます。なお、日常的に「道徳通信」で「自分に＋１」などを紹介していると、どんな授業をしているか示すことができ、通知表の所見に対する保護者の理解が得やすくなります。

③授業評価の資料として

「道徳ノート」の記入内容は、授業プラン（発問、授業展開、板書など）を見直す資料としても利用でき、教師の授業改善にも役立ちます。

「道徳ノート」を活用した通知表への記入例として、たとえば次のような表現が考えられます。

〇〇さんは、教材の主人公の行動を自分のこととして捉え、考えを深めようとする姿勢がよく見られました。7月3日の「挫折から希望へ」の学習では、登場人物に自分を重ね、人間の弱さに気づきながら少しずつでもコツコツと頑張っていきたいという思いをノートにまとめて、考えを深めました。

●道徳科における評価

教師による授業中の観察

1時間ごとの道徳ノート

学期末、年度末の振り返り

生徒一人ひとりの個人内評価へ

『中学道徳 あすを生きる』
活用しよう!「道徳ノート」

日文 教授用資料

平成30年(2018年)11月30日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL:06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD 33430

日本文教出版 株式会社
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690